

家族で子育て

36 Q & A



Q

年長児の息子は大人しくて、小学校に入って馴染める心配です。今から親ができることはありますか。

興味あること得意なことを親も一緒にやってみて、お子さんが楽しんでやれると自信がつきますよ。

A

そのまま受け入れる

たくさん友達を作る子もいれば、数人の友達と深く交わる子もいます。大人しい、内向的ななどという、親はともすればマイナスの性格と思いがちですが、そんなことはありません。

その子の短所と長所は紙一重で、優柔不断は慎重、意気地がないのは優しい、せっかちなら行動力がある、など。個性を長所として見てあげられるのは、親ならではのでしょう。

過度に心配して「はきはきなさい」などと言えば、子供はかえって萎縮してしまいますね。

「がんばっているね」「えらいね」などと励まし、認めてあげると自信につながります。成長の速度はさまざまで、これからの人生ですから、楽しんでたくさん経験させてあげましょう。

親と遊ぶのは社会性の第一歩

友達とうまく遊べない場合、遊びの能力が身についていないことがあります。戸外に連れ出して、子供が走って行つて順番をとれるかなど、様子を見ましよう。親と遊ぶのは社会性の第一歩です。体を使つて遊んだ後は心も解放され、意欲も高まっています。子供の興味ある

ことに、親がちよつと構つてあげるだけで自信になります。

また小学校では、困ったことがあれば担任の先生のところへ行けるようにしておきましょう。

大人も親戚つきあいや近所づきあいが減り、それだけ子供が大人社会を垣間見る機会が少なくなりました。不登校の子は、自分から友達のところへ遊びに行けない傾向があるそうです。親が付き合いの幅を広げるのも大切です。

小学校に上がれば、学校や地域の催し物が多くなりますので、親子で参加するなどして一緒に楽しめるといいですね。